

愛知工科大学・愛知工科大学自動車短期大学  
研究活動上の行動規範

■責任

研究者は、自らが生み出す専門知識や技術の質を担保する責任と、自らの専門知識、技術、経験を活かし、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与する責任を有する。

■行動

自主・自立的な行動は、長年の信頼の上に成り立っていることを自覚し、自らの研究姿勢を常に点検しつつ正しい信念に基づいて誠実に行動する。

■自己研鑽

自らの専門知識・能力等の維持向上に努めるとともに、科学技術と社会・自然環境の関係を広い視野から理解できるよう、弛まず努力する。

■説明と公開

自ら携わる研究の意義と役割を積極的に公開して説明し、その研究が社会に及ぼし得る影響や変化を評価し、その結果を中立性・客観性をもって公表する。

■研究活動

正確で公正な研究計画を自ら立案し、その研究成果を論文等で公表すること、反社会的勢力を利用しないことにより、社会の認知を得るとともに、その責任を負わなければならない。経費の適正な使用と研究・調査データの厳正な取扱を徹底し、ねつ造、改ざん、盗用等の不正行為を行わず、また加担しない。

■研究環境の整備

責任ある研究の実施と不正行為の防止を可能にする公正な環境の確立・維持も自らの重要な責務であることを自覚し、自らの所属組織の研究環境向上に努める。また、これを達成するために社会の理解と協力が得られるよう努める。

■利益相反

学外者又は他の組織との連携活動は、双方の利益の衝突に十分に注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。

■差別の排除

教育・研究・学会活動等において、人種、性別、地位、思想・宗教などによって差別せず、公平に対応して個人の自由と人格を尊重する。